

新聞やニュース等の報道で、今年度から「道徳」が教科になったことを御存じだと思います。各学年に教科書があり、評価も導入されることになりました。未来を担う子供たちの心を育て、よりよい生き方や人との関わり方を自分で考え、実行する力が求められています。

本校では、今年度「自分の考えを深めたり、広げたり、認め合ったりできる児童の育成 ～道徳科 伝え合う活動を通して～」を研究主題に、学校全体で「道徳科」の研究に取り組みます。道徳の授業で友達と多様な考えを交流する中で、自分の考えをより深めたり、友達の考えを受け止めて尊重したりしていくことを学び、沓掛小学校の子供たちの自分や友達を大切にしていける心を育てていきたいと思っています。昨年度までの算数科で培った、思考力や表現力、対話活動を生かしながら研究を進めていこうと考えています。

1学期は、2年生と4年生の授業を通して、検証しました。



【2年生】紙芝居で教材を提示



【4年生】役割演技をして気持ちを考える



自分の生活を振り返る

授業の中で、児童に考えさせたい道徳的価値を明確にして、その価値に迫るためにどのような学習を展開すればいいのかを考え、工夫しています。例えば、紙芝居で教材を提示して児童に興味をもたせたり、即興的に登場人物になりきって台詞を言って気持ちを考えたり、板書を分かりやすく整理して書き、登場人物の気持ちの葛藤を浮き彫りにしたり…。そして、授業の最後には、自分自身の生活を振り返る時間をとっています。週1時間の授業ですが、1時間1時間を大切にして、児童の心を耕していけるよう、今後も授業の中で様々な工夫をしていきたいと思っています。9月22日（土）は道徳授業地区公開講座です。ぜひ学校に足を運んでいただき、道徳の授業を御覧ください。

《走り方教室 — 3年生》

バルセロナオリンピックに日本代表として出場された渡辺選手をお招きし、走り方教室を行いました。素早いスタートダッシュの方法、「一歩目を自然に出すために体を傾ける。」など、体を上手に動かすポイントを、実践を交えて知ることができました。また、一見走ることに関係のない聞く姿勢についても、走る技術をする上でとても重要であることを一貫して指導してくださいました。最後に、教わったポイントを意識して、全力で駆け抜けました。



《体育：水泳「着衣泳」 — 5年生》

水泳の学習の一環として「着衣泳」を行いました。レジャーで「水」に親しむことが多くなる夏休み。服を着たまま落水したときどのような行動をしたらいいのかということテーマとして、学習を進めました。

落ちたときに慌てずに息をするところから始まり、服を着たままの水中での動きにくさを確かめ、水に浮く動きを試しました。水を含んだ衣服がどれだけ重たいものになるのか、その状態でどのようにすれば自分の命を守ることができるかを実感した時間でした。今回の学習で学んだことを生かす場面に遭遇しないことが一番ですが、万が一のときに活用できるものにしてもらいたいです。

